

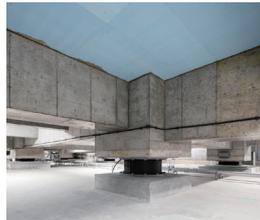
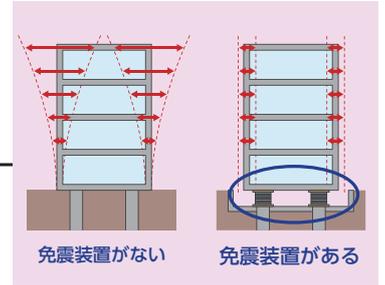


C棟災害時対応設備のご紹介

POINT 1

免震構造

地震発生時に揺れを吸収し揺れを建物に伝わらないようにしてダメージを少なくする免震装置がC棟地下2階から下に設置されています。



鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 15 基・天然ゴム系積層ゴム支承 10 基
安定した復元力特性を持つ天然ゴム系積層ゴム支承と中心部に減衰機能を発揮する鉛プラグを封入した鉛プラグ挿入型積層ゴム支承

弾性すべり支承 10 基

天然ゴム系積層ゴムの下部にすべり材を装着した「積層ゴム」と「すべり板」で構成

減衰こま 6 基

こまの軸方向の回転運動と回転部に充填された粘性体の抵抗で揺れのエネルギーを吸収

POINT 2

非常用発電機を設置

非常用発電機 800 キロワットが 2 台、重油タンク 5 万リットルを設置しており、約 96 時間（4 日間）の停電でも材料部を含め医療行為を継続できるように防災機能を強化しています。



POINT 3

トリアージエリア・臨時病床エリアを設定

災害時には地下 1 階と 1 階のエントランスホールやホール部分をトリアージエリア及び臨時病床エリアとして想定しており、壁に医療ガス設備・非常用コンセントを用意しております。この設備の下にストレッチャーを付けて処置が可能となっております。



POINT 4

感染症対応の ICU・HCU を設置

感染患者に対応するため、陰陽圧切替え可能な処置室、診察室を地下 1 階救急外来に 2 部屋、病室を 3 階と 5 階の病棟に 4 部屋ずつ整備しています。

